

光友会報

平成31年3月31日
第50号

発行責任者 細野 泰 司
発 行 者 光明学園光友会
編 集 者 茅原田 真澄
印 刷 所 (有)片野印刷

会長挨拶



会長
細野 泰司

昨年度に引き続き、今年度も会長を務めさせて頂きました細野と申します。光友会の皆様におかれましては、日頃より、活動にご尽力頂き感謝申し上げます。

さて、学園の創立百周年を迎えるに当たり、学園では様々な事業が展開され、大詰めとなりました。光友会としましては、学園と協議をしながら3年前より準備を進めてまいりました、高等学校アリーナの「阿弥陀如来ご尊像」の更新事業が無事に完了致しましたのでご報告申し上げます。

当初の計画では、高等学校第1アリーナのみ更新する予定でございましたが、学園との協議を進めていく中で、第2アリーナのお絵像も更新することが決定致しました。

両ご尊像の制作は女子美術大学洋画専攻非常勤講師でいらつしやる、菅野静香先生に依頼をさせて頂きました。

公私共にご多忙の中、1年を超える期間、学園に足を運んで頂き、平成31年2月に両ご尊像が完成しました。どちらの作品も大変素晴らしい、末永く学園とその関係者を見守って頂けるご尊容と拝察申し上げます次第です。

平成31年3月には、当麻山無量光寺ご住職、飯田寛隆上人にお越し頂き、搬遣式法要が挙行されました。更に4月には、私もご招待頂き、学園の教職員の皆様やご来賓の皆様と共に、魂を入れる法要である開眼式法要が挙行されました。搬遣式法要と同様に、飯田上人をお導師としてお迎えしました。

学園創立の地である無量光寺の飯田上人。同じ市内で教育活動を展開されている女子美術大学の菅野先生共にご縁を頂き事業が完遂できましたことも大変有難く感じております。

2019年度は、元号が変わり、学園もいよいよ創設百周年を迎えます。この節目の年に、光友会と致しましては、皆様との連携をより密にしながら、母校の益々の発展に協力をさせて頂く所存です。今後ともご協力の程お願い申し上げます。



創立百周年の誇り



学校長
清水 尚人

2018年度より校長に就任いたしました清水尚人でございます。光友会の皆様には、日頃より多大なる御支援と御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

2019年は、新元号を迎える年であり、本学園にとりましても創立百周年を迎える節目の年になりました。学園は、学祖山崎弁栄聖者による「智慧と慈悲を持つて明るく幸せな社会の実現に努める人間を育成する」という建学の精神を基本にしながら、まごころと思いやりのある豊かな人間性を有し、社会の発展に貢献できる人材の育成に力を注いでおります。卒業生の皆様の社会における御活躍や御貢献は、在校生・教職員の誇りであります。生徒一人ひとりの人生が心豊かなものになるために、今後も生徒、保護者の皆様から信頼され、卒業生の皆様、地域の皆様から愛される学校を目指し努力を重ねて参ります。

これまで創立百周年を迎えるにあたり、グラウンドの全面人工芝化、校内全トイレの自動洗浄化、ニュージラード短期留学制度導入などの教育環境の整備の充実を図って参りました。

2019年度には、校内ネットワーク環境、全普通教室の電子黒板化、第1アリーナの冷暖房機器の設置など更に充実した環境を提供して参ります。また、地域社会との連携を深め、地域の皆様の学習やコミュニケーションの場として修養室や図書室の学校施設を開放し広く公共性を持った活動を通して地域に親しまれる学校づくりを促進して参ります。

次に在校生の近況をお知らせいたします。学園では、「グランドデザイン2018」で示した自ら描く進路選択、進路決定をスローガンにキャリア教育を重視しております。国立大学をはじめとした難関私立大学への勇猛果敢なるチャレンジや進学も年々増加しております。

部活動での活躍も目覚しく、空手道部、新体操部、男女ソフトボール部は、8月のインターハイに続き、3月の全国選抜大会でも大活躍をしてくれました。硬式野球部は、秋季大会で神奈川県ベスト8を奪回し、今後の更なる躍進が大いに期待できるところであります。また、関東大会に出場した文芸部をはじめ和太鼓部、吹奏楽部など文科系の部活動の活躍からも目が離せません。どうぞ後輩の活躍を応援していただくとともに、今後とも学園発展にお力添えいただきますようお願い申し上げます。

末筆ながら、光友会の益々の御発展と会員の皆様の御活躍、御健勝をお祈り申し上げます。

百周年記念事業報告 アリーナご尊像の完成

21世紀を迎え、社会の変化のスピードは益々早くなり、これからの時代を生き抜くための素養、求められる人材もまた、激しく変化してゆきます。

その様な時代に対応するために、戦後最大とも言われる教育改革が行われる中、学園でも創立百周年という節目に合わせ、様々な教育環境の整備、多様な教育活動を行うための準備を進めて頂いております。

しかしながら他方、枝葉を大事にする者がその根を養うことに力を注ぐように、学園の根幹として、学祖山崎弁栄上人の創設の意志を見つめ直し辿ることが、更なる飛躍に繋がるとの考えのもと、学園ではその象徴であるアリーナの「阿弥陀如来」ご尊像の更新も百周年事業の一環として計画されました。

時代に要請された人材を育成することが学舎の使命であり、そのために教育環境や内容は柔軟に変化しなければなりません。しかしながら更に、建学の精神に基づいた独自の人間教育、人材育成もまた、私学が果たすべき使命でもあります。学園の方針に賛同させて頂き、光友会としてアリーナのご尊像更新事業に協力をさせて頂きました。

平成31年2月にご

尊像そのものが完成し、3月には従前の

アリーナのご尊像の

「搬遣式法要」が挙

行され、その後かけ

替え工事が行われま

した。そして4月に

は、光友会会長も招

待を頂き「開眼式法要」が厳粛な雰囲気の中で挙

行されました。

これからの学園の発展を見つめ、お守り頂けるであろう新しいご尊像の完成を心よりお慶び申し上げますと共に、ここに至るまで学園や光友会の活動にご理解とご協力を頂きましたことを、深く感謝申し上げます。

特に、アリーナのご尊像の元として学園にお迎えした弁栄上人のご真筆は、故谷慈義上人旧蔵の三昧仏で、学園のために快くお譲り下さったご令室様である由紀子様をはじめとするご遺族の皆様には、ご厚情を賜りましたことを改めて御礼申し上げます。

また、ご尊像の制作をして頂きました洋画家の菅野静香先生におかれましては、1年を超える長い期間に渡り、学園に足をお運び頂きました。時に無理なお願ひも申し上げましたが、いつも笑顔でお受けくださいました。この度の完成まで面倒を見て頂き、感謝の念に堪えません。

学園の百周年という節目に、その象



谷家旧蔵の三昧仏

徴であるご尊像の更新に光友会が携わりましたことは、大変有難いご縁でありました。百年を契機として新たな教育に挑む学園の益々の発展を祈念申し上げます。

弁栄上人墨跡仏画の 寄贈について

学園が百周年を迎えるに際し、上述のご縁から、故谷慈義上人のご遺志を継がれましたご令室様をはじめとするご遺族の皆様より、弁栄上人やそのお弟子様の墨跡仏画計72点を寄贈頂きました。

谷上人は、公認会計士・税理士として、また経営コンサルタントとして活躍されながら、大学で教鞭を執られ、また僧侶として自行化他に

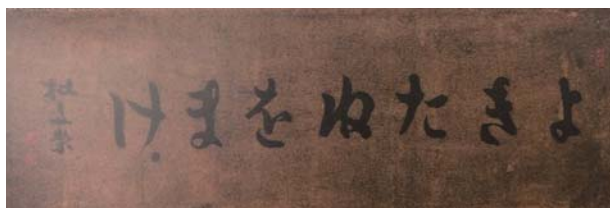
湛進されるなど、多方面でその才能を発揮され、精力

的に活動されておりましたが、平成27年12月15日70才で遷化されました。その直前まで弁栄上人を広く世の人々に伝えたい一心から、弁栄上人の著書『宗祖の皮随』の現代語訳を執筆され、出版を目前とするところで、突然の病に倒られました。

谷上人のご遺稿は、ご遺族をはじめ、師である河波定昌上人によって『法然上人の神髓（現代語訳『宗祖の皮随』）』として出版され、道俗を問わず、多くの方々に読まれております。

ここに感謝を込めまして謹んで紹介させて頂きます。

◀「龍頭観音菩薩像」



「よきたねをまけ」



アリーナご尊像 「開眼式」法要

学園教諭 山本 静雄先生

学園中庭の桜が満開に咲き誇る、うららかな春爛漫の4月4日、第1アリーナご尊像開眼式法要が挙行されました。光明学園創立百周年を機にご尊像を一新しました。今までの両アリーナにあったご尊像、第1アリーナのものは昭和61年に、第2アリーナのものは本学園85周年を記念して平成15年に描かれました。両ご尊像は本学園教諭伊原加寿子先生の作です。第1アリーナのご尊像は2枚の絹地をミシンで縫い合わせ、そこに岩絵具を使って描かれた日本画のものです。損傷激しく、ミシンの縫い目がはつれてしまっていました。今回は1枚の布地に油絵具で描かれました。作者は女子美術大学非常勤講師菅野静香先生です。

開眼式は先ず第2アリーナで行われました。第2アリーナでは、理事長、常務理事、校長、副校長、教頭、総括教諭2名の出席で行われ、続いて第1アリーナでは、更に制作者、光友会会長、来賓と全教職員出席のもと行われました。開眼式は出席者一同合掌のものと導師をお迎えして始まりました。導師は無量光寺68世住職飯田覚隆上人です。ステージ上には、井上理事長、長

澤常務理事、清水校長、制作者の菅野先生、細野光友会会長。ご尊像の前には果物が供えられ、木魚と大鐘（ダイキン）という鐘が置かれていました。導師は先ずご尊像に向かって梵字を宙に描かれ、大鐘を打ち鳴らして読経しました。表白（ヒョウビヤク）を述べられ、光明学園のこれからの発展を祈願された後、壇上の方々が焼香をしました。その後、井上理事長より挨拶として、ご尊像を一新した経緯、そしてご尊像一新に寄付のあった、卒業生で組織される光友会への感謝が述べられました。



第1アリーナ開眼式法要

ご尊像制作者より

女子美術大学洋画専攻

非常勤講師 菅野 静香先生

開眼式法要の終了後、制作者の菅野静香先生にインタビューをさせて頂きました。その内容を以下に掲載します。

私は油絵を専攻しています。ご尊像制作の依頼を受けた時は、ご尊像を油絵で描いて良いのだろうかというためらいがありました。しかし、光明学園で美術を担当されていた片山先生より、仏画を油絵で描くのは珍しく、新しいことをしてみないかとの言葉に背中を押されてお受け致しました。

2枚のお絵像を1年ちよつとで制作しました。制作を開始して間もない頃は、山崎弁栄上人が描かれたご尊像を忠実に拡大することの難しさにばかり気を取られていました。

しかし、何度も光明学園に来て制作を続けてゆく中で、生徒さんとも話しをする機会があり、生徒さんより如来様の前だと気がひきしまるという言葉を聞いてから、私が作っているのは絵ではなく、皆さんが集まる場所を作っているのだと思ってご尊像を描きました。

(文責会報編集者)



菅野静香先生



修養室で制作中の菅野先生

光友会活動報告



平成30年度の光友会の活動を、ご報告致します。

①平成30年度 入学式参列

平成30年4月9日(月)、高等学校第1アリーナにおいて入学式が挙行され、光友会会長も来賓としてお招き頂きました。入学者は、636名でした。

②平成30年度 定時総会

平成30年5月19日(土)、高等学校多目的会議室において30年度の総会が開催されました。

③全国高等学校野球選手権 神奈川県大会応援

夏の全国高等学校野球選手権神奈川県大会が行われました。今年度は、1回戦シード、2回戦7月15日(日)、大和スタジアムで、本年度も、光友会より全校生徒職員の皆様に百周年記念ロゴ入りマフラータオルの寄贈をさせて頂きました。

④平成30年度 懇親会

平成30年11月24日(土)、相模原市のホテルラポール千寿閣において、恒例の懇親会を開催しました。学園より、井上正明理事長、長澤博文常務理事をはじめとする多くの教職員や卒業生のご臨席を賜りました。



平成30年度 懇親会

⑤第51回 光明祭

平成30年10月27日(土)、28日(日)に第51回光明祭が開催されました。本会では、恒例となりました学園発展の歴史や創立百周年記念事業の写真を、教室の一角をお借りして展示致しました。多くの卒業生の参加を頂き、感謝申し上げます。
次年度も是非、多くのご参加をお待ちしております。

⑥和太鼓部定期発表会 吹奏楽部定期演奏会

和太鼓部は、平成30年12月25日(火)、相模原市民会館にて、吹奏楽部は平成31年3月19日(火)、相模原市杜のホールはしもとにて開催されました。本会の役員も鑑賞させて頂きました。



第51回 文化祭

⑦第64回 卒業式

平成31年3月1日(金)、高等学校第1アリーナにおいて、第64回卒業式が挙行されました。卒業生は、498名で本会会長より、記念品が授与されました。



退任のお知らせ

平成30年度をもって、退任される先生方のご紹介をさせて頂きます。

伊原加寿子先生が、御退任致します。今年度までのご指導に感謝申し上げますと共に、益々のご健勝をお祈り申し上げます。

なお、先生には囑託教諭として継続して下さいます。今後ともご指導の程、宜しくお願い致します。



編集後記

平成30年度は、百周年まであと1年ということもあり、様々な事業が大きく進展いたしました。そして、2019年度にはいよいよ学園創立百周年を迎えて参ります。学園では、百周年記念式典や、山崎弁栄聖者にまつわる展示会等、様々な事業を計画しております。卒業生の皆様にも今後ともお力添えを賜りたく、お願い申し上げます。
光友会や学園について等、お問い合せ等ございましたら、高等学校光友会担当の茅原田までお願い致します。